

JIS A 5549 F★★★★

JAIA 4VOC基準適合

JAI-19規格適合品

# 床タイル・石材用接着剤 MS70ア-10

内装床面へのタイル・石材施工用として開発された1液反応硬化形変成シリコン樹脂系接着剤です。初期硬化性に優れ、硬化後はほどよい硬さを保持することで、下地の変形や局部荷重による仕上げ材への不具合影響を低減します。



変成シリコン樹脂系接着剤

化学反応形無溶剤タイプ

指定可燃物可燃性固体類

容量	包装形態	梱包単位
2kg	フィルムバック	9

## 用 途

適用箇所	屋内の床面
適用下地	<ul style="list-style-type: none"> <li>木質系 [床暖房可] (根太間隔303mmピッチ、合板厚み12mm以上を使用)</li> <li>コンクリート</li> <li>モルタル</li> </ul>
適用仕上げ材	セラミックタイル [磁器質タイル、せっき質タイル (厚み8mm以上、600mm角までの床タイル)] 石材 [石材含浸タイプの裏面処理材を併用] (厚み12mm以上、600mm角まで)

## 性 質

外 観	灰白色 マスチック状
主 成 分	変成シリコン樹脂
張付け可能時間	30分以内/23℃

## 標準使用量

5×5×10mm角ノッチゴテ	7×7×14mm角ノッチゴテ
2.0~2.4kg/m <sup>2</sup>	3.0~3.4kg/m <sup>2</sup>
0.8~1.0m <sup>2</sup> /2kg	0.5~0.6m <sup>2</sup> /2kg

注) 標準使用量は目安であり、実際の施工条件によっては変化いたします。

## 使用方法

### 【下地の確認】

●コンクリート・モルタル下地  
下地は平坦・平滑に仕上げ、施工後2週間(冬期は4週間)以上養生し、よく乾燥している事を確認します。

### 【下地の調整及び清掃】

●コンクリート・モルタル下地  
1.モルタル下地に凸部がある場合は、サンダー掛けやケレン処理により平滑にします。また、凹部がある場合は、下地補修材で補修します。  
2.モルタル下地のもろい部分やレイタンスは必ず取り除いてから下地補修材で補修します。  
3.下地面及び被着体のゴミ・ホコリ・油分・錆・塗料などは接着不良の原因となりますので取り除きます。  
4.下地が湿っている場合は施工をしないで下さい。

### ●ボード類下地

1.タワミのない厚手の材料を使用し、目違いや目地隙のない下地とします。  
2.木質系下地の場合で、目違いがある場合は手直しをします。  
3.接着不良の原因となるホコリ・油・錆・塗料などを取り除きます。

### 【仕上げ材の確認】

接着施工する前に、仕上げ材の欠損や反りのある物は取り除きます。

### 【接着剤の塗布】

1.接着剤を平ゴテを用いて、下地に押し付けるよう均一に塗布します。

チェック：1回の塗布面積は張付け可能時間内に仕上げ材を張り終えることのできる面積として下さい。

2.接着剤を塗布した後、クシ目ゴテを用いて均一にクシ目をたてます。

チェック：・厚塗り、薄塗り、塗布むらなどは接着不良の原因となりますので注意して下さい。  
・クシ目ゴテは仕上げ材サイズに合わせて適時変更して下さい。

### 【仕上げ材の張り付け】

1.クシ目を立てた後すぐに仕上げ材を張り始め、張付け可能時間内に張り終えます。

チェック：張付け可能時間は環境により異なります。  
2.叩き板などを用いてよく圧着します。仕上げ材裏面全体に接着剤が付着するようにします。

### 【養生】

施工完了後、接着剤を硬化させるために夏期は1日以上、冬期は3日以上水が掛からないように養生します。

# MSフロア-10

## 【目地詰め】

- 1.目地詰めを行う前に仕上げ材のズレがなく又、接着剤が硬化している事を確認します。
- 2.目地用ゴムゴテを用いて、目地部に目地材が完全に充てんされるように塗り込みます。

※床暖房設備なし:セメント系目地材(CG-512)  
床暖房設備有り:エポキシ系目地材(TAグラウトEP)

- チェック: ・使用される目地材によって使用方法が異なりますので、それぞれの使用方法にそって施工して下さい。  
・伸縮目地部や設備機器との取り合い部にはシーリング材を充てんしますので、セメント系目地材を塗り込まないで下さい。

## 取り扱い上の注意事項

MSフロア-10を使用する前に、下記の項目を守って下さい。

- 製品が完全硬化するまで臭いが残ることがあります。施工中だけでなく、施工後1週間程度空気がこもらない工夫を行って下さい。
- 接着用途以外に、絶対に使用しないで下さい。
- 品種の異なる接着剤や溶剤と併用・混合しないで下さい。
- 石材の施工は石材汚染(シミ出し)が懸念されますので施工を行う際には裏面処理材を使用して下さい。なお裏面処理材は表面に皮膜を形成するタイプのものは接着性に影響を与えますので使用を控え、石材に含浸するタイプを使用して下さい。
- 5~35℃の環境で使用・保管して下さい。
- 取り扱い場所及び作業箇所は換気を行って下さい。又、施工後も製品が硬化するまで、通常の換気(日常生活の程度、朝夕1~2時間)を行って下さい。
- 可燃性があります。使用時・取り扱い場所では火気に注意して下さい。
- 保管・使用時は「消防法」や「労働安全衛生法」などに従って下さい。
- 製品は皮フに触れたり蒸気を吸入すると、健康障害や皮フ障害(カブレ)などを起すことがあります。使用時は保護具を着用して下さい。(アレルギー体質の人は特に注意して下さい)
- 開封した製品は、できるだけ早く使い切って下さい。(数日で硬化します)
- 直射日光の当たらない屋内に場所を定めて保管して下さい。
- 子供の手の届かない場所に保管して下さい。
- 使用後や休憩前には、手洗い・ウガイを行って下さい。
- 使用中に身体に異常を感じた時は直ちに使用を止め、換気のよい場所で安静にし、必要に応じて医師の診断を受けて下さい。

●掲載商品の一部内容を、品種の新設・改良・廃止などにより予告なしに変更する場合があります。

●本カタログの記載内容は、当社技術開発センターの資料を基に作成し、充分信頼し得るものと確信しております。しかし、現場施工においては、施工箇所の環境・使用材料・施工条件などが異なるため、全ての条件を満足するものではありません。確実な施工を行うためにも、施工前に確認試験をされますようお願いいたします。

- 目に入った時は直ちに清水で洗い流した後、医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ時は直ちに医師の診断を受けて下さい。
- 皮フや衣服に付いた時は洗い落として下さい。
- 食品用器具、容器などには使用しないで下さい。
- 誤飲防止と食品への混入を避けるために、保管場所は食品と区別して下さい。
- 使用済み容器などは、許可を受けた産業廃棄物処理業者へ処分を委託して下さい。
- 河川・湖沼・下水道などへ流入させないで下さい。
- ご不明な点は当社営業担当にお問い合わせ頂くか、安全データシート(SDS)をご参照下さい。
- MSフロア-10をご使用になる前には、商品容器の表示事項をよくお読み下さい。

## ■警告及び注意



株式会社 **タイルメント** 本社営業本部 / 〒453-0067 名古屋市中村区宿跡町1-58 TEL: 052-412-7321 FAX: 052-412-8900

東京支店 TEL: 03-3616-2201 FAX: 03-3616-3711	名古屋支店 TEL: 052-411-3511 FAX: 052-411-3516	仙台営業所 TEL: 022-262-5751 FAX: 022-262-5753	広島営業所 TEL: 082-231-1200 FAX: 082-231-7666	北陸出張所 TEL: 076-237-7480 FAX: 076-237-6478	大垣工場 TEL: 0584-89-2225 FAX: 0584-89-2090
大阪支店 TEL: 06-6386-6141 FAX: 06-6386-6146	札幌営業所 TEL: 011-717-5216 FAX: 011-717-5217	横浜営業所 TEL: 045-242-7441 FAX: 045-242-8136	福岡営業所 TEL: 092-451-6503 FAX: 092-481-0621	技術開発センター FAX: 0584-89-8111	センター FAX: 0584-87-0010

タイルメント ホームページアドレス <http://www.tilement.co.jp>

関連企業

◆株式会社イヅカ・タイルメント ◆TILEMENT (THAILAND) CORPORATION, LTD.

210707